

## 平成29年度事業計画

### (基本方針)

本県では、平成27年度は国の地方創生交付金等による「ふるさと旅行券事業」、平成28年度は国の熊本地震対策としての「九州ふっこう割事業」等に取り組み一定の成果を上げることができたが、国の支援施策のない平成29年度からは、自らの力でいかに観光客の誘致を進めていくのか宮崎観光の真価が問われている。

このような中、当協会は昨年5月に観光地経営の視点で観光地域づくりを行う舵取り役としての日本版DMO候補法人として登録を受けたところで、平成28年度は理事の数を増やし、地域の様々な分野の関係者と連携できるような体制構築等に取り組んできた。

平成29年度からは、さらに関係者との連携を深めながら本格的に観光地域づくりに取り組む必要がある。

このため、県が策定した「宮崎県総合計画」や「宮崎県観光振興計画」等を踏まえながら、記紀編さん1300年や東九州自動車道整備、国際定期路線などを本県観光振興の好機と捉え、「魅力ある観光地域づくりの推進」、「新たなスポーツ大会・合宿の誘致」及び「MICE誘致の更なる強化」を重点に、県、市町村、民間事業者等との連携を一層密にしながら、本県の観光振興に取り組んでいく。

### (重点事項)

#### 1 魅力ある観光地域づくりの推進

個人旅行者の増加や外国人観光客の急増等、観光を取り巻く状況が変化する中、旅行者の幅広いニーズに的確に対応するため、神話や伝統文化、豊かな自然や食などの宮崎ならではの観光素材の掘り起こし・磨き上げや旅行企画の提案及び効果的な観光プロモーション等について他県等との競争に勝つという視点で積極的な展開を図るため、観光に関わる幅広い産業・分野が連携した事業の仕組みづくりや、外部の専門人材を活用した魅力ある観光地域づくり等に取り組む。

#### <主な取り組み>

- ・DMO業務検討会（仮称）の開催
- ・国の交付金等の活用による外部の専門人材の配置
- ・着地型旅行の企画提案

## 2 新たなスポーツ大会・合宿の誘致

キャンプ誘致の「全県化」、「多種目化」、「通年化」の実現に向けて、本県のスポーツ関係者等と連携を図りながら、アマチュアのスポーツ大会や日本代表チームの合宿等新たなスポーツ大会・合宿の誘致に積極的に取り組む。

### <主な取り組み>

- ・韓国学生野球部の合宿誘致
- ・東京六大学のスポーツ大会の開催

## 3 MICE誘致の更なる強化

平成28年度に任命したMICEアンバサダーを活用しながら、新たな誘致先を開拓するとともに、海外からのMICEの誘致にも引き続き取り組み、MICE誘致の更なる強化を図る。

### <主な取り組み>

- ・関西地区へのMICE誘致セールスの強化
- ・海外インセンティブ（報償旅行）の誘致

## I 観光振興【153,699千円】

### 1 観光情報の発信・提供

本県の観光資源やタイムリーな情報を発信・提供する。

#### (1) 協会HP「旬ナビ」(英語ほか6言語対応)による情報発信

※ 平成28年度実績(4～1月) アクセス件数254万8,258件

#### (2) NHK宮崎放送局ローカル番組を活用した県内イベント等のPR

NHKニュースイブニング宮崎～お出かけ情報「いっちみらんね宮崎」

#### (3) 新聞・雑誌等広告 外

### 2 観光プロモーション活動

市町村(観光協会等含む)や民間企業と連携し県外での各種観光イベント等に出展し、宮崎への認知度を高め、誘客を推進する。

・ツーリズムEXPOジャパン(9月:東京)

・みやざきひなたWeek!!(時期未定:東京、大阪、福岡) 外

### 3 観光地域づくりの推進

コーディネータ等の専門人材を設置し体制を強化するとともに、平成28年度に実施した着地型素材の調査結果等を踏まえ、地域間の連携により、地域の魅力ある素材を磨き上げテーマ性のある着地型企画を提案する。

### 4 旅行商品造成に向けた取り組み

優位性の高い宮崎の素材を活かした「新しい宮崎旅行」の造成を支援する。

#### (1) 旅行会社等との連携

宮崎の着地型素材を取り込んだ新たな旅行商品を旅行会社が造成する際の支援を行う。

#### (2) 旅行商品造成のための観光素材等説明会への参加

・2017年下期(4～5月:東京、名古屋、大阪、広島、福岡)

・2018年上期(8～10月:東京、名古屋、大阪、福岡)

## 5 教育旅行誘致

宮崎県内の関係機関・団体、民間事業者等が一丸となって、宮崎県教育旅行誘致推進協議会を通して、オールみやざきで国内外からの教育旅行誘致強化を促進する。

### (1) 国内誘致対策

- ① 旅行会社等の招請実施
- ② 誘致セールスの実施（首都圏、関西圏、北部九州、鹿児島県）

### (2) 国外誘致対策

台湾からの教育旅行誘致セールスを実施する。（JNTO主催の商談会参加等）

## 6 東九州自動車道を活用した誘客

大分県と設立した東九州広域観光協議会を基に、北部九州、中四国を重点に、東九州自動車道を活用した誘客を推進する。

### (1) NEXCO西日本との連携

- ・PRキャラバンの実施（九州、中四国）
- ・高速道SA・PAエリア、道の駅等でのPR

### (2) 旅行会社等に対する商品造成支援

- ・高速道路を利用した広域観光商品造成への支援

### (3) PRイベントの実施

- ・北部九州や四国での観光PR（時期・場所未定）

## 7 海外インバウンド対策

定期便が就航する国を中心に誘致・PRを強化するとともに、クルーズ船の寄港増加を図り、個人を含めた訪日旅行者を誘致する。

### (1) 韓国対策

- ・航空会社及び現地旅行社との連携
- ・メディア等招請
- ・九州観光説明会・商談会（7月～8月）
- ・テレビショッピングによる宮崎旅行商品の販売
- ・東九州ウェルネスツーリズムPR事業（大分県、北九州市と連携）

## (2) 台湾対策

- ・航空会社及び現地旅行社との連携
- ・メディア等招請
- ・九州観光説明会・商談会（7月～8月）
- ・ITF台北国際旅行博への出展（11月）
- ・台湾FIT向け定期バス九州周遊ルート情報発信事業/VJ事業<sup>\*1</sup>  
（鹿児島県、福岡市と連携）

<sup>\*1</sup>VJ事業：国が推進する訪日外国人旅行者の増加を目的とした訪日プロモーション事業

## (3) 香港対策

- ・航空会社及び現地旅行社との連携
- ・メディア等招請
- ・ITE香港国際旅遊展への出展（6月）
- ・九州観光説明会・商談会（10月）
- ・香港ウェディングエキスポ2017への出展（11月）
- ・香港市場におけるFIT向け南九州ヘルスツーリズムPR事業  
（熊本県・鹿児島県と連携）

## (4) 中国・ASEAN諸国対策

### ① 中国

- ・ゴルフツアーの拡大を図るための事業
- ・メディアと連携したプロモーションの実施
- ・メディア等招請

### ② ASEAN諸国（タイ、シンガポール）

- ・メディアと連携したプロモーションの実施
- ・タイの旅行会社等へのセールス
- ・メディア等招請

## (5) クルーズ船誘致

県内3港の特性と後背地の魅力を活かし、南九州のクルーズの拠点を目指して誘致活動を実施する。

- ・クルーズ見本市への参加（中国、韓国、米国）
- ・クルーズ船社や旅行社へのセールス（中国、香港、台湾）
- ・高品質クルーズの誘致、連携事業と広域観光ルートの提案

＜参考＞平成29年寄港予定

平成29年2月1日現在

	月日	寄港地	船名	総トン数	定員(人)	出発地	種別	備考
1	1/5	宮崎	にっぽん丸	22,472	398	神戸	内航	
2	1/6	油津	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,180	上海	外航	
3	3/6	細島	飛鳥II	50,142	872	神戸	内航	
4	3/17	細島	フォーレンダム	61,214	1,404	横浜	外航	初寄港
5	4/16	油津	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,180	上海	外航	
6	4/23	細島	フォーレンダム	61,214	1,404	横浜	外航	
7	4/30	油津	シルバー・シャドー	28,258	382	深圳	外航	初寄港
8	5/5	油津	サファイヤ・プリンセス	115,875	2,670	基隆	外航	初寄港
9	5/10	油津	サファイヤ・プリンセス	115,875	2,670	基隆	外航	
10	5/19	油津	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,180	上海	外航	
11	5/23	油津	マリナー・オブ・ザ・シーズ	138,279	3,114	上海	外航	
12	5/24	油津	ダイヤモンド・プリンセス	115,875	2,700	神戸	外航	
13	6/4	油津	飛鳥II	50,142	872	神戸	内航	
14	6/20	油津	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,180	上海	外航	
15	7/15	油津	飛鳥II	50,142	872	神戸	内航	
16	7/23	油津	ノルウェージャン・ジョイ	164,600	4,200	上海	外航	初寄港
17	7/24	油津	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	167,800	4,180	上海	外航	

※ 油津港 13回（内、外国船 11回）

※ 細島港 3回（内、外国船 2回）

※ 宮崎港 1回（外国船なし）

(6) 個人訪日旅行者向けアンケート調査の実施

訪日旅行で主流となりつつある個人旅行者（FIT）の細かなニーズを把握し、誘客対策につなげる。

8 県内関係機関との連携

DMOとして取り組む業務のうち、特に関係機関・団体と連携を必要とするものについては、行政、事業者、地域住民が参加するDMO業務検討会（仮称）を開催するとともに、DMO推進に向けた意識の高揚、理解の促進のための研修会等を実施する。

## II スポーツランド推進【49,303千円】

### 1 スポーツイベント等開催促進

全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に、開催経費の一部を助成する。

- ・ラグビー早明戦開催（6月）
- ・東京6大学野球オールスター戦開催（8月）
- ・ITUトライアスロンワールドカップ宮崎大会（10月）  
※ ITU：国際トライアスロン連合
- ・第31回青島太平洋マラソン（12月）
- ・三大ゴルフトーナメント  
ダンロップフェニックス（11月）、リコーカップ（11月）、アクサレディース（3月）
- ・大相撲宮崎場所（12月）

### 2 スポーツキャンプ等受入支援

プロ野球やサッカーJリーグ等のプロスポーツチームなどに対する県産品贈呈や、歓迎事業等の支援と本県で初めて合宿する団体に対し、合宿経費の一部助成を行う。

- ・巨人軍物産展、ジャビットバス運行などプロ野球一軍5球団へ盛り上げ支援
- ・プロ野球、サッカーJリーグ等のチームに宮崎牛など県産品を贈呈
- ・大相撲5部屋宮崎合宿みやざきブランドポーク贈呈
- ・エアポートボールパーク2018開催

### 3 誘致セールス・PR活動

大学、実業団等を対象に誘致セールスやセミナーを実施し、また、スポーツ団体等のキーマンを招請し、スポーツ施設や宿泊施設等の受入環境をPRする。

- ・スポーツ合宿誘致セールス（関東、関西、北陸、韓国）

### 4 スポーツメディカル推進

本県でキャンプ（合宿）を実施するアスリートがメディカルチェックを受ける際の費用の一部を助成する。

- ・ソフトテニスナショナルチーム（7月、3月）

## 5 アスリートフード推進

宮崎県栄養士会と連携し開発したアスリートフードメニューにより合宿受入環境の魅力向上につなげるため、ホテル旅館等への普及に向けたアスリートフード研修会や訪問指導を実施する。

## 6 プロスポーツキャンプ観客誘致促進

プロ野球キャンプ等の観戦に訪れる観光客向けの本県観光観戦ツアーの造成や、デジタルスタンプラリーを活用したキャンプ地周遊などスポーツツーリズムを推進する。

## 7 宮崎球援プロジェクト

プロ野球選手会、日本野球機構と連携して野球ファンが集う「みやざきフェニックスリーグ」期間の土日2日間、「プロ野球選手とキャッチボールしよう！」イベントを実施する。

## 8 ゴルフ王国宮崎振興

県内で開催される三大ゴルフトーナメントと連携し、ゴルフファン拡大と県内外からの誘客を促進する。



### Ⅲ MICE推進【76,007千円】

#### 1 MICE推進体制

##### (1) みやざきMICE推進協議会を通じた誘致の推進

協議会及びワーキングチームと連携した受入体制の拡充や官民一体となった誘致を推進する。

##### (2) MICEセミナー開催

産学官が連携してMICEを誘致する機運の醸成等を行うため、MICEセミナーを開催する。

##### (3) MICEアンバサダー任命

MICE開催地としてのプレゼンス向上のため、学識、名声があり、専門分野において影響力のある人財をアンバサダーに任命し、本県へのMICE誘致活動を推進する。

##### (4) MICE表彰

本県でのMICE開催に特段の貢献をされた個人・団体を表彰し、MICE誘致の気運の醸成と関係者の意識の向上を図る。

#### 2 MICE誘致

##### (1) 個別誘致セールス

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への訪問を強化し、MICE誘致を促進する。

##### (2) みやざきMICEアンバサダーの提言を活かした誘致の推進

アンバサダーからの情報提供に基づく関西地区等の誘致を推進する。

##### (3) 学術会議等誘致推進懇談会

MICEの主催者となる学術会議等の事務局や大学、企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、当協会のMICE支援制度等の説明や情報交換会を行い、MICE誘致を促進する。（9月：東京、10月：福岡）

#### (4) 国内外MICE・キーパーソンの招請

学会関係者等MICE決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎の会議施設、アフターMICEとなる観光地等の視察を実施し、MICE誘致を促進する。

#### (5) 国際MICE誘致

国際MICE、訪日インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局主催の商談会・見本市への参加、さらに個別セールスを実施する。

##### ① MICE商談会・見本市への参加

- ・台湾インセンティブ旅行現地セミナー（6月：台北）
- ・Visit Japan MICE マート（9月：東京）
- ・ソウルインセンティブマート（10月：ソウル）
- ・IME&MEET JAPAN（2月：東京）

##### ② 海外セールス（台湾、韓国、香港）

### 3 MICE開催支援

#### (1) コンベンション開催支援補助金交付

基準を満たす九州規模以上の大会及び訪日インセンティブ旅行取扱エージェント等について、MICE開催支援補助金を交付する。

#### <主なMICE>

- ・第87回九州眼科学会  
（5月19～21日 延参加者1,590名 延宿泊者1,050名）
- ・九州地区公立学校教頭会研究大会  
（7月26～28日 延参加者3,600名 延宿泊者2,000名）
- ・第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会  
（9月8～9日 延参加者2,600名 延宿泊者1,300名）
- ・第79回九州山口薬学大会  
（9月16～18日 延参加者5,400名 延宿泊者3,000名）
- ・第55回日本糖尿病学会九州地方会  
（10月13～14日 延参加者2,200名 延宿泊者1,000名）
- ・2017年国際溶媒抽出学会  
（11月5～9日 延参加者1,750名 延宿泊者1,600名）

## (2) その他支援

上記開催支援補助金対象外のMICEについて、歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援のほか、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等を提供する。

- ・ 歓迎看板や横断幕・バナーの設置
- ・ 郷土芸能等の披露
- ・ 交通アクセス支援
- ・ 各種パンフ(グルメ&ナイトマップ等)等の提供

## 4 広報・宣伝

MICEセールス用パンフレットやHP「旬ナビ」のほか、学会の機関紙等で、「みやざきMICE」の魅力を広く情報発信し、本県のMICE開催イメージ・ブランド力をアップを図る。

## 5 調査・企画・開発

### (1) 調査・企画

MICE開催情報を収集及び提供する。

### (2) 研修等参加

MICE推進団体の会議及び研修に参加し、職員のMICE業務能力や情報収集力を高めるとともに、交流による人脈づくりを推進する。

### (3) MICEメニュー開発

みやざきMICE推進協議会ワーキングチームとともに、広域的かつ多様なMICEメニューを開発し利用を促進する。

## 平成29年度事業費（予算）

参考

事業区分	29年度	28年度	増減
公益目的事業1			
(1) 観光推進	153,699	1,141,347	▲ 987,648
①宮崎版DMO推進	65,630	—	65,630
②魅力ある観光地づくり推進支援	1,000	—	1,000
③個人旅行者誘致推進	22,880	—	22,880
④「日本のひなた宮崎県」国内誘客促進 （日本のひなた国内誘致推進）	16,839	62,952	▲ 46,113
⑤東九州自動車道観光誘客	7,089	10,000	▲ 2,911
⑥東アジア等インバウンド推進 （東アジア等観光誘客推進）	25,995	87,226	▲ 61,231
⑦教育旅行誘致推進	6,250	6,225	25
⑧教育旅行誘致・受入促進	3,035	3,035	0
⑨宮崎観光緊急誘客対策	—	105,000	▲ 105,000
⑩九州観光支援交付金	—	860,000	▲ 860,000
⑪観光キャンペーン	—	2,138	▲ 2,138
⑫観光情報活動推進	1,281	1,071	210
⑬観光カレンダー制作	3,700	3,700	0
(2) スポーツランド推進	49,303	66,443	▲ 17,140
①スポーツランドみやざき誘客推進 （スポーツランドみやざき推進強化）	47,700	26,009	21,691
②東京オリンピック・パラリンピック等おもてなし推進	—	5,704	▲ 5,704
③スポーツランドみやざき地域連携推進	—	33,000	▲ 33,000
④宮崎球援プロジェクト	875	900	▲ 25
⑤ゴルフ王国宮崎振興	728	830	▲ 102
(3) MICE推進	76,007	101,741	▲ 25,734
①MICE誘致	14,171	15,591	▲ 1,420
②開催支援	57,111	81,522	▲ 24,411
③広報・宣伝	3,256	3,200	56
④調査・企画・開発	1,469	1,428	41
(4) 運営事業費	82,843	80,036	2,807
計	361,852	1,389,567	▲ 1,027,715

※（ ）内は昨年度の事業名

※平成29年度予算の主な減少要因（総額1,056,140千円）

熊本地震対策の終了：(1)⑨宮崎緊急誘客対策、(1)⑩九州観光支援交付金

国の単年度交付金の減：(1)⑥東アジア等インバウンド推進の一部、(2)③スポーツランドみやざき地域連携推進